

教科名	国語	科目名	国語a	履修学年	中学 高校	3年	A～E 組	
単位数	2単位	使用教科書 補助教材等	国語3（光村図書）					
担当者	松岡 冬音 関沢 由紀子		光村の国語のワーク3（光村教育図書）					
学習目標	物語や論説文を読むことにより、社会生活で役に立つ国語の力を身に着ける。多様化する社会に必要な、論理的思考力を身に着ける。文章によって、自分の意見を他者に伝えられる表現力を身に着ける。							
評価方法								
評価観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む姿勢			
評価規準	社会生活に必要な言葉の知識や技能を身に付けるとともに、情報の取り扱い方や関係性に着目し、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。		「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との多様な関わりの中で適切な表現を用いながら伝え合い、自分の思いや考えをより広げたり深めたりしている。		各単元における知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力を身に付けたりするとともに適切に活用するために、自らの学習状況を把握し、既習の内容を生かしながら課題や活動に取り組むとともに、積極的に学習しようとしている。			
各観点の授業内 評価方法等	定期考査 基礎問題 ノート・ワーク		定期考査 応用問題 提出課題		授業態度 ノート・課題の提出状況			
学期末の 各観点比率(%)	40		40		20			
授業計画								
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等				時間 数	評価 区分 1	評価 区分 2
1	4	<ul style="list-style-type: none"> 握手 井上ひさし 実用的な文章を読もう 報道文を比較して読もう 情報整理のレッスン 情報の信頼性 				11	1 学期 中間 考査	第1回 到達 度確 認テ スト
	5							
	6	<ul style="list-style-type: none"> 作られた「物語」を超えて 山極寿一 俳句の可能性 宇多喜代子 俳句を味わう 				10		
	7							
	8							
2	9	<ul style="list-style-type: none"> 故郷 魯迅 言葉の釣り糸を垂らす いしいしんじ 				8	2 学期 中間 考査	第2回 到達 度確 認テ スト
	10							
	11	<ul style="list-style-type: none"> それでも言葉を 鷲田清一 天、共に在り 中村哲 極夜行 角幡唯介 				11		
	12							
3	1	<ul style="list-style-type: none"> 温かいスープ 今道友信 アラスカとの出会い 星野道夫 律儀な桜 角田光代 わたしを束ねないで 新川和江 				12	学 年 末 考 査	
	2							
	3							

教科名	国語	科目名	国語b	履修学年	中学・高校	3年	全	組	
単位数	2	使用教科書 補助教材等	国語3(光村図書)/光村の国語のワーク3(光村教育図書)/中学書写一・二・三年(光村図書)/読んで見て覚える重要古文単語315四訂版(桐原書店)/基礎から解釈へ漢文必携五訂版(桐原書店)/ステップアップノート30 古典文法基礎ドリル三訂版(河合出版) 教員作成によるプリント類						
担当者	影山 大 山本 宏樹								
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・中2で学んだ文語文法の基礎(用言の活用)を定着させ、古文読解への橋渡しをする。 ・漢文においては中2から引き続き漢詩を学んだあと、再読文字等の習得をはかり、漢文読解の土台を強固にする。 ・基本的な毛筆書写(中3では行書)の方法を習得させる。□ 								
評価方法									
評価観点	知識・技能		思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む姿勢			
評価規準	古典読解に必要な言葉の知識や技能を身に付けるとともに、情報の取り扱い方や関係性に着目し、我が国の伝統的な言語文化に親しんだり理解したりしている。		古典読解を通じ、「読むこと」「書くこと」の各領域において、論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で表現を工夫しながら伝え合い、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。			各単元における知識及び技能を習得したり、思考力・判断力・表現力等を身に付けたりするために、自らの学習に対する態度や現状を正確に理解し、先々の見通しを持ちながら粘り強く課題や活動に取り組んでいる。			
各観点の授業内 評価方法等	定期考査□		課題・小テスト			音読・グループ学習・授業態度・課題提出の状況□			
学期末の 各観点比率(%)	60%		30%			10%			
授業計画									
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等					時間 数	評価 区分 1	評価 区分 2
1	4	文語文法…古典文法 事始め～形容動詞 ※係り結びの法則の説明 漢文訓読(書き下し・訓点付け)・漢詩の基礎知識の復習					2 6	中間 考査	第1回 到達度 確認 テスト
	5	漢詩二編—「絶句」(杜甫)・「黄鶴楼送孟浩然之広陵」(李白) 古文単語の小テスト(授業冒頭の10分)							
	6	文語文法…助動詞入門、(一)「き」「けり」、(二)「つ」「ぬ」、(三)「ず」 古文…『徒然草』(仁和寺にある法師) 古文単語の小テスト(授業冒頭の10分)					2 5	期末 考査	
	7	書写…行書(全国書画展覧会に向けて) (答案返戻)					1		
8									
2	9	書写…行書(全国書画展覧会に向けて) 漢文…再読文字①「未」 漢文…故事成語「推敲」(『唐詩紀事』)					1 1 5	中間 考査	第2回 到達度 確認 テスト
	10	古文単語の小テスト(授業冒頭の10分)							
	11	文語文法…(四)「たり」「り」、(九)「べし」「まじ」、(十)「なり」「なり」 古文…『枕草子』(冒頭) 古文単語の小テスト(授業冒頭の10分)					2 5	期末 考査	
	12	(答案返戻)					2		
3	1	漢文…再読文字②「将・且」「当・応」 漢文…故事成語「蛇足」(『戦国策』)					2 2	学年 末考 査	
	2	文語文法…(五)「る」「らる」、(六)「す」「さす」「しむ」、(七)「む」「むず」「じ」 古文単語の小テスト(授業冒頭の10分)							4
	3	(答案返戻)							
合計時間(定期考査含む) 51～63時間									

教科名	国語	科目名	国語c	履修学年	中学・高校	3年	全	組	
単位数	1単位	使用教科書 補助教材等	ロジカル国語表現α(好学出版)						
担当者	松岡 冬音		教員作成プリント 国語3(光村図書)						
学習目標	「書く」「読む」「味わう」を各授業のテーマとして据え、文章を読み書きする手法を実践的に活用することができるよう、繰り返し練習する。また、コミュニケーション・自己表現のツールとして「ことば」を適切に使用できるようにするため、実用的な文章の読み取りや複数の資料や統計資料の読み取りも併せて行う。								
評価方法									
評価観点	知識・技能		思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む姿勢			
評価規準	社会生活に必要な言葉の知識や技能を身に付けるとともに、情報の取り扱い方や関係性に着目し、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。		「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との多様な関わりの中で適切な表現を用いながら伝え合い、自分の思いや考えをより広げたり深めたりしている。			各単元における知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするとともに適切に活用するために、自らの学習状況を把握し、既習の内容を生かしながら課題や活動に取り組むとともに、積極的に学習しようとしている。			
各観点の授業内 評価方法等	授業内課題 授業内テスト		授業内課題 授業内テスト			授業内課題 授業内テスト			
学期末の 各観点比率(%)	40%		40%			20%			
授業計画									
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等					時間 数	評価 区分 1	評価 区分 2
1	4	1. 書くことの基礎 正しい文を書く 2. 論理のしくみ「接続語の働き」					5	中間 考査	
	5	3. 論理の利用「説得力のある文章を論理的な構成で書く」 4. 論理の実践①「テーマについて、根拠・具体例を挙げて書く」 5. 論理の実践②「資料を読み取って意見を書く」 6. 論理の実践③「複数の資料を読み取って意見を書く」 7. 論理の実践④「文章を読んで意見を書く」 8. 論理の実践⑤「複数の文章を読んで意見を書く」 授業内テスト							
	6	国語3 説得力のある構成を考えよう スピーチで心を動かす スピーチ発表					5	期末 考査	
	7								
8									
2	9	9. 出題傾向別①「自分の意見を書く」 10. 出題傾向別②「社会に必要な解決策を書く」					4	中間 考査	
	10	11. 出題傾向別③「身近な社会現象について書く」 12. 出題傾向別④「社会について文章・資料を読んで書く」 13. 出題傾向別⑤「教育や文化について」 14. 出題傾向別⑥「情報・科学について」 15. 出題傾向別⑦「医療や福祉について」 授業内テスト							
	11	国語3 複数の意見を読んで、考えよう—正解が一つに決まらない課題と向き合う					5	期末 考査	
	12	作文課題							
3	1	論理や意見を発表する①「ディベート」					5	学年 末考査	
	2	論理や意見を発表する③「卒業に向けて・手紙の書き方」 論理や意見を発表する③「卒業研究原稿作成」							
	3								